

## 安全データシート

改訂日：2023/11/10

## 1. 化学品及び会社情報

製品名 ラッカーシンナー 洗浄用  
会社名 株式会社MonotaRO  
所在地 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階  
担当者名 商品お問合せ窓口  
電話番号 0120-443-509  
FAX番号 0120-289-888  
緊急連絡先 所在地と同じ  
整理番号 M250714  
推奨用途及び使用上の制限  
推奨用途：塗料洗浄用

## 2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体：区分 2

健康に対する有害性

急性毒性(吸入)：区分 4

皮膚腐食性/刺激性：区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 2

発がん性：区分 1A

生殖毒性：区分 1A

生殖毒性・授乳に対する又は授乳を介した影響：追加区分

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 1

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 2

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 3(麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：区分 1

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：区分 2

誤えん有害性：区分 1

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性)：区分 2

水生環境有害性 長期(慢性)：区分 2

(注) 記載なきGHS分類区分：区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

H225 引火性の高い液体及び蒸気

H332 吸入すると有害

H315 皮膚刺激

- H319 強い眼刺激
- H350 発がんのおそれ
- H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
- H362 授乳中の子に害を及ぼすおそれ
- H370 臓器の障害
- H371 臓器の障害のおそれ
- H336 眠気又はめまいのおそれ
- H372 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害
- H373 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
- H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
- H401 水生生物に毒性
- H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性

## 注意書き

### 安全対策

- P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
- P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- P263 妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。
- P273 環境への放出を避けること。
- P210 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
- P233 容器を密閉しておくこと。
- P240 容器を接地しアースをとること。
- P241 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。
- P242 火花を発生させない工具を使用すること。
- P243 静電気放電に対する措置を講ずること。
- P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
- P271 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
- P264 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
- P280 保護手袋を着用すること。
- P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- P280 保護眼鏡/保護面を着用すること。
- P280 指定された個人用保護具を使用すること。
- P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

### 応急措置

- P370 + P378 火災の場合: 指定された消火剤を使用すること。
- P391 漏出物を回収すること。
- P321 特別な処置が必要である。
- P314 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
- P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。
- P312 気分が悪いときは医師に連絡すること。
- P308 + P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。
- P304 + P340 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- P302 + P352 皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
- P303 + P361 + P353 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
- P332 + P313 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
- P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- P305 + P351 + P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P337 + P313 眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

P331 無理に吐かせないこと。

P301 + P310 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。

#### 貯蔵

P403 換気の良い場所で保管すること。P233 容器を密閉しておくこと。P235 涼しいところに置くこと。

P405 施錠して保管すること。

#### 廃棄

P501 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：

混合物

| 成分名                 | CAS No.    | 含有量 (%) | 化審法番号               |
|---------------------|------------|---------|---------------------|
| トルエン                | 108-88-3   | 25 - 30 | 3-60; 3-2           |
| 酢酸エチル               | 141-78-6   | 15 - 20 | 2-726               |
| メチルエチルケトン           | 78-93-3    | 10 - 15 | 2-542               |
| イソプロピルアルコール         | 67-63-0    | 5 - 10  | 2-207               |
| メタノール               | 67-56-1    | 1 - 5   | 2-201               |
| アセトン                | 67-64-1    | 1 - 5   | 2-542               |
| 酢酸n-プロピル            | 109-60-4   | 1 - 5   | 2-727               |
| 酢酸n-ブチル             | 123-86-4   | 1 - 5   | 2-731               |
| エチルベンゼン             | 100-41-4   | 1 - 5   | 3-28; 3-60          |
| キシレン                | 1330-20-7  | 1 - 5   | 3-3; 3-60           |
| エタノール               | 64-17-5    | 1 - 5   | 2-202               |
| メチルイソブチルケトン         | 108-10-1   | 1 - 5   | 2-542               |
| 1-ブタノール             | 71-36-3    | 1 - 5   | 2-3049              |
| n-ヘキサン              | 110-54-3   | 1 - 5   | 2-6                 |
| プロピレングリコールモノメチルエーテル | 107-98-2   | 0.1 - 1 | 2-404; 7-97         |
| 酢酸イソブチル             | 110-19-0   | 0.1 - 1 | 2-731               |
| イソブタノール             | 78-83-1    | 0.1 - 1 | 2-3049              |
| メチルシクロヘキサン          | 108-87-2   | 0.1 - 1 | 3-2230              |
| 酢酸メチル               | 79-20-9    | 0.1 - 1 | 2-725               |
| 軽質芳香族系石油ソルベントナフサ    | 64742-95-6 | 0.1 - 1 | -                   |
| 2-ブトキシエタノール         | 111-76-2   | 0.1 - 1 | 7-97; 2-407; 2-2424 |

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

#### 危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

トルエン，酢酸エチル，メチルエチルケトン，イソプロピルアルコール，メタノール，アセトン，酢酸n-プロピル，酢酸n-ブチル，エチルベンゼン，キシレン，エタノール，メチルイソブチルケトン，1-ブタノール，n-ヘキサン，酢酸イソブチル，イソブタノール

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

トルエン，酢酸エチル，メチルエチルケトン，イソプロピルアルコール，メタノール，アセトン，酢酸n-プロピル，酢酸n-ブチル，エチルベンゼン，キシレン，エタノール，メチルイソブチルケトン，1-ブタノール，n-ヘキサン，酢酸イソブチル，イソブタノール，2-ブトキシエタノール，シクロヘキサノン

## 化管法「第1種指定化学物質」該当成分

トルエン，エチルベンゼン，キシレン，メチルイソブチルケトン，n-ヘキサン

## 4. 応急措置

## 応急措置の記述

## 一般的な措置

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。  
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。  
気分が悪いときは医師に連絡すること。  
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

## 吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

## 皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。  
皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。  
皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

## 眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

## 飲み込んだ場合

無理に吐かせないこと。  
直ちに医師に連絡すること。

## 急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。

## 医師に対する特別な注意事項

特別な処置が必要である。

## 5. 火災時の措置

## 消火剤

## 適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

## 使ってはならない消火剤

水を使用してはならない。

## 6. 漏出時の措置

## 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

区域より退避させる。  
関係者以外は近づけない。  
回収が終わるまで十分な換気を行う。  
換気不十分な場所で漏洩を処理するときは自給式呼吸保護具を着用する。  
適切な保護具を着用する。  
こぼれた場所はすべりやすいため注意する。  
着火源を取除くとともに換気を行う。  
風上から作業し、風下の人を退避させる。  
安全に対処できる場合は漏洩を止める。

#### 環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。

掃き集めて、容器に回収する。

回収後の少量の残留分は土砂又はおがくず等に吸収させる。

#### 二次災害の防止策

漏出物を回収すること。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

#### 取扱い

##### 技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

(火災・爆発の防止)

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

容器を接地しアースをとること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する措置を講ずること。

##### 安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

保護手袋を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

##### 接触回避データなし

##### 衛生対策

妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

#### 保管

##### 安全な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。

施錠して保管すること。

##### 安全な容器包装材料データなし

### 8. ばく露防止及び保護措置

#### 管理指標

##### 管理濃度

(トルエン)

作業環境評価基準(2009)  $\leq$  20ppm  
 (酢酸エチル)  
 作業環境評価基準(2004)  $\leq$  200ppm  
 (メチルエチルケトン)  
 作業環境評価基準(1995)  $\leq$  200ppm  
 (イソプロピルアルコール)  
 作業環境評価基準(2004)  $\leq$  200ppm  
 (メタノール)  
 作業環境評価基準(1995)  $\leq$  200ppm  
 (アセトン)  
 作業環境評価基準(2004)  $\leq$  500ppm  
 (酢酸n-プロピル)  
 作業環境評価基準(2000)  $\leq$  200ppm  
 (酢酸n-ブチル)  
 作業環境評価基準(2012)  $\leq$  150ppm  
 (エチルベンゼン)  
 作業環境評価基準(2012)  $\leq$  20ppm  
 (キシレン)  
 作業環境評価基準(2004)  $\leq$  50ppm  
 (メチルイソブチルケトン)  
 作業環境評価基準(2012)  $\leq$  20ppm  
 (1-ブタノール)  
 作業環境評価基準(1995)  $\leq$  25ppm  
 (n-ヘキサン)  
 作業環境評価基準(2004)  $\leq$  40ppm  
 (酢酸イソブチル)  
 作業環境評価基準(1995)  $\leq$  150ppm  
 (イソブタノール)  
 作業環境評価基準(1995)  $\leq$  50ppm  
 (酢酸メチル)  
 作業環境評価基準(1995)  $\leq$  200ppm  
 (2-ブトキシエタノール)  
 作業環境評価基準(1995)  $\leq$  25ppm  
 (シクロヘキサノン)  
 作業環境評価基準(2009)  $\leq$  20ppm

#### 許容濃度

(トルエン)  
 日本産衛学会(2013) 50ppm; 188mg/m<sup>3</sup> (皮)  
 (酢酸エチル)  
 日本産衛学会(1995) 200ppm; 720mg/m<sup>3</sup>  
 (メチルエチルケトン)  
 日本産衛学会(1964) 200ppm; 590mg/m<sup>3</sup>  
 (イソプロピルアルコール)  
 日本産衛学会(1987) (最大許容濃度) 400ppm; 980mg/m<sup>3</sup>  
 (メタノール)  
 日本産衛学会(1963) 200ppm; 260mg/m<sup>3</sup>  
 (アセトン)  
 日本産衛学会(1972) 200ppm; 475mg/m<sup>3</sup>  
 (酢酸n-プロピル)

日本産衛学会(1970) 200ppm; 830mg/m<sup>3</sup>  
 (酢酸n-ブチル)  
 日本産衛学会(1994) 100ppm; 475mg/m<sup>3</sup>  
 (エチルベンゼン)  
 日本産衛学会(2020) 20ppm; 87mg/m<sup>3</sup> (皮)  
 (キシレン)  
 日本産衛学会(2001) 50ppm; 217mg/m<sup>3</sup>  
 (メチルイソブチルケトン)  
 日本産衛学会(1984) 50ppm; 200mg/m<sup>3</sup>  
 (1-ブタノール)  
 日本産衛学会(1987) (最大許容濃度) 50ppm; 150mg/m<sup>3</sup> (皮)  
 (n-ヘキサン)  
 日本産衛学会(1985) 40ppm; 140mg/m<sup>3</sup> (皮)  
 (イソブタノール)  
 日本産衛学会(1987) 50ppm; 150mg/m<sup>3</sup>  
 (メチルシクロヘキサン)  
 日本産衛学会(1986) 400ppm; 1600mg/m<sup>3</sup>  
 (酢酸メチル)  
 日本産衛学会(1963) 200ppm; 610mg/m<sup>3</sup>  
 (2-ブトキシエタノール)  
 日本産衛学会(2017) (最大許容濃度) 20ppm; 97mg/m<sup>3</sup> (皮)  
 (n-ヘプタン)  
 日本産衛学会(1988) 200ppm; 820mg/m<sup>3</sup>  
 (1,2,4-トリメチルベンゼン)  
 日本産衛学会(1984) 25ppm; 120mg/m<sup>3</sup>  
 (1,3,5-トリメチルベンゼン)  
 日本産衛学会(1984) 25ppm; 120mg/m<sup>3</sup>  
 (シクロヘキサノン)  
 日本産衛学会(1970) 25ppm; 100mg/m<sup>3</sup>  
 (トルエン)  
 ACGIH(2020) TWA: 20ppm (中枢神経系、視覚及び聴覚障害; 女性生殖系影響; 妊娠損失)  
 (酢酸エチル)  
 ACGIH(1979) TWA: 400ppm (上気道及び眼刺激)  
 (メチルエチルケトン)  
 ACGIH(1992) TWA: (200ppm);  
 STEL: (300ppm) (上気道刺激; (中枢神経系及び末梢神経系障害))  
 (イソプロピルアルコール)  
 ACGIH(2001) TWA: 200ppm;  
 STEL: 400ppm (眼及び上気道刺激; 中枢神経系障害)  
 (メタノール)  
 ACGIH(2009) TWA: 200ppm;  
 STEL: 250ppm (頭痛; 眼損傷; めまい; 吐き気)  
 (アセトン)  
 ACGIH(2015) TWA: 250ppm;  
 STEL: 500ppm (上気道及び眼刺激; 中枢神経系障害)  
 (酢酸n-プロピル)  
 ACGIH(2018) TWA: 100ppm;  
 STEL: 150ppm (上気道及び眼刺激; 中枢神経系障害)  
 (酢酸n-ブチル)

ACGIH(2016) TWA: 50ppm;  
 STEL: 150ppm (眼及び上気道刺激)  
 (エチルベンゼン)  
 ACGIH(2021) TWA: 20ppm (上気道及び眼刺激; 聴覚毒性; 腎臓影響; 中枢神経系障害)(キシレン)  
 ACGIH(2021) TWA: 20ppm (眼及び上気道刺激; 血液学的影响; 聴覚毒性; 中枢神経系障害)  
 (エタノール)  
 ACGIH(2009) STEL: 1000ppm (上気道刺激)  
 (メチルイソブチルケトン)  
 ACGIH(2010) TWA: 20ppm;  
  
 STEL: 75ppm (上気道刺激; めまい; 頭痛)  
 (1-ブタノール)  
 ACGIH(2001) TWA: 20ppm (眼及び上気道刺激)  
 (n-ヘキサン)  
 ACGIH(1998) TWA: 50ppm (中枢神経系障害; 末梢神経障害; 眼刺激)  
 (プロピレングリコールモノメチルエーテル)  
 ACGIH(2013) TWA: 50ppm;  
 STEL: 100ppm (眼及び上気道刺激)  
 (酢酸イソブチル)  
 ACGIH(2016) TWA: 50ppm;  
 STEL: 150ppm (眼及び上気道刺激)  
 (イソブタノール)  
 ACGIH(2002) TWA: 50ppm (皮膚及び眼刺激)  
 (メチルシクロヘキサン)  
 ACGIH(1987) TWA: 400ppm (上気道刺激; 中枢神経系障害; 肝臓及び腎臓損傷)  
 (酢酸メチル)  
 ACGIH(2013) TWA: 200ppm;  
 STEL: 250ppm (頭痛; めまい; 吐き気; 眼損傷(網膜神経節細胞変性))  
 (2-ブトキシエタノール)  
 ACGIH(2003) TWA: 20ppm (眼及び上気道刺激)  
 (n-ヘプタン)  
 ACGIH(1979) TWA: 400ppm;  
 STEL: 500ppm (中枢神経系障害; 上気道刺激)  
 (1,2,4-トリメチルベンゼン)  
 ACGIH(2021) TWA: 10ppm (中枢神経系障害, 血液学的影响)  
 (1,3,5-トリメチルベンゼン)  
 ACGIH(2021) TWA: 10ppm (中枢神経系障害, 血液学的影响)  
 (シクロヘキサノン)  
 ACGIH(2003) TWA: 20ppm;  
 STEL: 50ppm (眼及び上気道刺激)

#### 特記事項

(トルエン)  
 聴力障害  
 (メタノール)  
 皮膚吸収  
 (エチルベンゼン)  
 聴力障害  
 (キシレン)  
 聴力障害

(n-ヘキサン)  
皮膚吸収  
(シクロヘキサノン)  
皮膚吸収

## 9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：液体  
色：無色、透明  
臭い：溶剤臭  
臭いの閾値データなし  
融点/凝固点データなし  
沸点又は初留点：(アセトン)56℃  
沸点範囲：56 から144℃  
可燃性(ガス、液体及び固体)：引火性点火性あり  
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：  
爆発下限：1.1 vol %  
爆発上限：50 vol %  
引火点：-18℃  
自然発火点：(酢酸エチル)427℃  
分解温度データなし  
pH：適用外  
動粘性率データなし  
溶解度：  
水に対する溶解度：不溶  
溶媒に対する溶解度データなし  
n-オクタノール/水分配係数データなし  
蒸気圧データなし  
密度及び/又は相対密度：0.841～0.861(20℃)  
相対ガス密度(空気=1)データなし  
粒子特性データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性  
反応性データなし  
化学的安定性  
通常の保管条件/取扱い条件において安定である。  
危険有害反応可能性  
危険有害反応可能性データなし  
避けるべき条件  
避けるべき条件データなし  
混触危険物質  
混触危険物質データなし  
危険有害な分解生成物  
危険有害な分解生成物データなし

## 11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(酢酸エチル)

rat LD50=5600mg/kg (ACGIH 7th, 2001)

(メチルエチルケトン)

rat LD50=2737mg/kg (環境省リスク評価第6巻, 2008)

(イソプロピルアルコール)

rat LD50=5480mg/kg (EHC 103, 1990)

(メタノール)

human LD50=ca. 1400mg/kg (DFGOT vol.16, 2001)

(エチルベンゼン)

rat LD50=3500-4700mg/kg (AICIS IMAP, 2020)

(キシレン)

rat LD50=3500 - 8800mg/kg (NITE有害性評価書, 2008)

(メチルイソブチルケトン)

rat LD50=2080mg/kg (ACGIH, 2010)

(1-ブタノール)

rat LD50=2510mg/kg (ACGIH 7th, 2001)

(イソブタノール)

rat LD50=2460mg/kg (日本産衛学会許容濃度の提案理由書, 1987; EHC 65, 1987; SIDS, 2005; PA TTY, 6th, 2012)

(2-ブトキシエタノール)

rat LD50=470mg/kg, 917mg/kg (環境省リスク評価第6巻, 2008)

(n-ヘプタン)

mouse LD50=5000mg/kg (IUCLID, 2000)

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

female rat LD50=3280mg/kg (REACH登録情報, Accessed Aug. 2021)

(1,3,5-トリメチルベンゼン)

rat LD50=4300-8642mg/kg (NITE 初期リスク評価書, 2008)

(シクロヘキサノン)

rat LD50=800- 1840mg/kg (SIDS, 2009)

急性毒性(経皮)

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(酢酸エチル)

rabbit LD50 > 18000mg/kg (SIDS, 2008)

(イソプロピルアルコール)

rabbit LD50=12870mg/kg (EHC 103, 1990)

(メタノール)

rabbit LD50=15800mg/kg (DFGOT vol.16, 2001)

(エチルベンゼン)

rabbit LD50=15400mg/kg (ACGIH, 2011)

(キシレン)

rabbit LD50=1700mg/kg (EPA Pesticide, 2005)

(1-ブタノール)

rabbit LD50=3402mg/kg (SIDS, 2005)

(イソブタノール)

rabbit LD50=2460mg/kg(雌) (SIDS, 2005); rabbit LD50=3400mg/kg (SIDS, 2005; PATTY, 6th, 2012); rabbit LD50=4240mg/kg (EHC 65, 1987; SIDS, 2005)

(2-ブトキシエタノール)

rabbit LD50=220mg/kg (ATSDR, 1998)

(n-ヘプタン)

rabbit LD50=3000mg/kg (IUCRID, 2000)

(シクロヘキサノン)

rabbit LD50=947mg/kg (PATTY, 2001)

急性毒性(吸入)

[製品]

区分 4, 吸入すると有害

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(トルエン)

vapor: rat LC50=3319-8800ppm/4hr (EU-RAR, 2003) et al.

(酢酸エチル)

vapor: rat LC50=14640ppm/4hr (DFGOT vol.12, 1999)

(メチルエチルケトン)

vapor: rat LC50=11700ppm/4hr (PATTY 6th, 2012)

(メタノール)

vapor:rat LC50>31500ppm/4hr (DFGOT vol.16, 2001)

(酢酸n-プロピル)

vapor: rat LC50=4000-8000ppm/4hr (SIDS, 2009)

(エチルベンゼン)

vapor: rat LC50=4000ppm/4hr (産衛学会許容濃度の暫定値の提案理由書, 2020)

mist: rat LC50=55mg/L/2hr (換算値: 27.5mg/L/4hr) (MOE初期評価, 2015)

(キシレン)

vapor: rat LC50=6350-6700ppm/4hr (NITE有害性評価書, 2008)

(メチルイソブチルケトン)

vapor: rat LC50=8.2mg/L/4hr (NTP TR 538, 2007)

(プロピレングリコールモノメチルエーテル)

vapor: mouse LC50=7395-9258ppm/4hr (SIDS, 2003)

(酢酸イソブチル)

vapor: rat LC(4-death/6-samples)=8000ppm (DFGOT vol.19, 2003)

(イソブタノール)

vapor: rat LC50=6336ppm/4hr (EHC 65, 1987; SIDS, 2005); rat LC50=8000ppm/4hr (産衛学会許容濃度の提案理由書, 1987)

(メチルシクロヘキサノン)

vapor: mouse LC50=7500 - 10000ppm/2hr (換算値: 5303 - 7071.1ppm/4hr) (ACGIH 7th, 2001)

(2-ブトキシエタノール)

vapor: rat LC50=450ppm/4hr (SIDS, 2007)

(n-ヘプタン)

vapor: rat LC50=25132ppm/4hr (環境省リスク評価第6巻:暫定的有害性評価シート, 2008)  
 (1,2,4-トリメチルベンゼン)  
 mist: rat LC50=18000mg/m3/4hr (18mg/L/4hr) (MOE 初期評価, 2009)  
 (1,3,5-トリメチルベンゼン)  
 mist: rat LC50=4800ppm/4hr (24mg/L/4hr) (MOE初期評価, 2013)  
 (シクロヘキサノン)  
 vapor: rat LC50=2450ppm (ACGIH, 2003)

#### 局所効果

##### 皮膚腐食性/刺激性

###### [製品]

区分 2, 皮膚刺激

###### [成分データ]

###### [日本公表根拠データ]

(トルエン)

ラビット 中等度の刺激性 (EU-RAR, 2003)

(メチルエチルケトン)

ラビット 中等度の刺激性 (SIDS, 2011 et al)

(キシレン)

ラビット 紅斑、浮腫、壊死 (NITE有害性評価書, 2008)

(1-ブタノール)

ラビット 中等度の刺激性 (DFGOT vol.19, 2003)

(n-ヘキサン)

ラビット/ヒト 軽度の刺激性 (DFGOT vol.14, 2000)

(イソブタノール)

ヒト 軽度の発赤 (ACGIH 7th, 2001 et al)

(2-ブトキシエタノール)

ラビット 刺激性 (SIDS, 2006)

(n-ヘプタン)

ヒト 皮膚炎 (DFGOT vol.11,1998)

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

皮膚刺激性 (MOE 初期評価, 2009)

(1,3,5-トリメチルベンゼン)

ラビット (OECD TG 404)中等度から重度の刺激性 (NITE初期リスク評価書, 2008)

(シクロヘキサノン)

ラビット (SIDS, Access on Apr. 2009)

##### 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

###### [製品]

区分 2, 強い眼刺激

###### [成分データ]

###### [日本公表根拠データ]

(トルエン)

ラビット 軽度の刺激性 (EU-RAR, 2003)

(酢酸エチル)

ラビット 一過性の刺激性, 7日までに全ての反応は消失 (ECETOC TR48, 1998)

(メチルエチルケトン)

ラビット 重度の刺激 (SIDS, 2011 et al)

(イソプロピルアルコール)

ラビット (PATY 6th, 2012 et al)

(メタノール)

ラビット 区分2:Draize test (EHC 196, 1997)  
 (アセトン)  
 ラビット 角膜上皮の破壊4から6日で回復 (SIDS, 2002)  
 (酢酸n-プロピル)  
 ラビット 軽度の刺激性 (SIDS, 2009)  
 (酢酸n-ブチル)  
 ラビット 48時間後に回復 (SIDS, 2009)  
 (エチルベンゼン)  
 ラビット 軽度の刺激 (NITE初期リスク評価書, 2007 et al)  
 (キシレン)  
 ラビット 軽度から中等度の刺激性 (NITE有害性評価書, 2008)  
 (エタノール)  
 ラビット 7日以内に回復 (ECETOC TR No.48(2), 1998 et al)  
 (メチルイソブチルケトン)  
 ラビット 7日以内に回復した (ECETOC TR48, 1992)  
 (1-ブタノール)  
 ヒト 眼刺激性 (PATY 6th, 2012)  
 (n-ヘキサン)  
 ラビット 軽度刺激性 (DFGOT vol.14, 2000)  
 (プロピレングリコールモノメチルエーテル)  
 ラビット 軽度の刺激性 (SIDS, 2003)  
 (酢酸イソブチル)  
 ラビット わずかな刺激性 (SIDS, 2009)  
 (イソブタノール)  
 ヒト 角膜の変化 (DFGOT vol.19, 2003)  
 (メチルシクロヘキサン)  
 ラビット 結膜発赤, 48時間後には回復 (SIAP, 2014)  
 (酢酸メチル)  
 ラビット 7日以内に回復 (EU-RAR, 2003)  
 (2-ブトキシエタノール)  
 ラビット (OECD TG405, GLP) 21日後に回復 (ECETOC TR95, 2005)  
 (n-ヘプタン)  
 ヒト 刺激性 (環境省リスク評価第6巻: 暫定的有害性評価シート, 2008)  
 (1,2,4-トリメチルベンゼン)  
 眼刺激性 (MOE 初期評価, 2009)  
 (1,3,5-トリメチルベンゼン)  
 ラビット 軽度の刺激性 (NITE初期リスク評価書, 2008)  
 (シクロヘキサノン)  
 ラビット (SIDS, Access on Apr. 2009)

呼吸器感作性又は皮膚感作性  
 呼吸器感作性  
 [製品]  
 データ不足のため、分類できない。  
 [成分データ]  
 データなし

皮膚感作性  
 [製品]  
 データ不足のため、分類できない。  
 [成分データ]

[日本公表根拠データ]  
 (シクロヘキサノン)  
 cat. 1; FROSCHE, TEXTBOOK OF CONTACT DERMATITIS

#### 生殖細胞変異原性

[製品]  
 データ不足のため、分類できない。  
 [成分データ]  
 データなし

#### 発がん性

[製品]  
 区分 1A, 発がんのおそれ  
 [成分データ]  
 [日本公表根拠データ]  
 (エチルベンゼン)  
 cat.2; IARC Gr. 2B (IARC, 2000)  
 (エタノール)  
 cat.1A; (IARC, 2010)  
 (メチルイソブチルケトン)  
 cat.1B; (IARC 101, 2012)  
 [IARC]  
 (トルエン)  
 Group 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない  
 (イソプロピルアルコール)  
 Group 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない  
 (エチルベンゼン)  
 Group 2B : ヒトに対して発がん性があるかもしれない  
 (キシレン)  
 Group 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない  
 (エタノール)  
 Group 1 : ヒトに対して発がん性がある  
 (メチルイソブチルケトン)  
 Group 2B : ヒトに対して発がん性があるかもしれない  
 (2-ブトキシエタノール)  
 Group 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない  
 (シクロヘキサノン)  
 Group 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない  
 [ACGIH]  
 (トルエン)  
 A4(2020) : ヒト発がん性因子として分類できない  
 (イソプロピルアルコール)  
 A4(2001) : ヒト発がん性因子として分類できない  
 (アセトン)  
 A4(2015) : ヒト発がん性因子として分類できない  
 (エチルベンゼン)  
 A3(2021) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明  
 (キシレン)  
 A4(2021) : ヒト発がん性因子として分類できない  
 (エタノール)  
 A3(2009) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

(メチルイソブチルケトン)

A3(2010): 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明  
(プロピレングリコールモノメチルエーテル)

A4(2013): ヒト発がん性因子として分類できない

(2-ブトキシエタノール)

A3(2003): 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明  
(1,2,4-トリメチルベンゼン)

A4(2021): ヒト発がん性因子として分類できない

(シクロヘキサノン)

A3(2003): 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明  
[日本産衛学会]

(エチルベンゼン)

第2群B: ヒトに対しておそらく発がん性があると判断できる物質

(メチルイソブチルケトン)

第2群B: ヒトに対しておそらく発がん性があると判断できる物質

[EU]

(メチルイソブチルケトン)

Category 2; ヒトに対する発がん性が疑われる物質

(軽質芳香族系石油ソルベントナフサ)

Category 1B; ヒトに対しておそらく発がん性がある物質

#### 生殖毒性

[製品]

区分 1A, 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

追加区分, 授乳中の子に害を及ぼすおそれ

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(トルエン)

cat. 1A; NITE初期リスク評価書 87, 2006

cat. add; SIDS(J), Access on Apr. 2012

(イソプロピルアルコール)

cat. 2; PATTY 6th, 2012

(メタノール)

cat. 1B; mouse : PATTY 5th, 2001

(アセトン)

cat. 2; EHC 207, 1998

(エチルベンゼン)

cat. 1B; 産衛学会許容濃度等の勧告, 2021; ACGIH 7th, 2011 et al.

(キシレン)

cat. 1B; ATSDR, 2007

(エタノール)

cat. 1A; human : PATTY 6th, 2012

(n-ヘキサン)

cat. 2; rat : ATSDR, 1999

(2-ブトキシエタノール)

cat. 2; rat : SIDS, 2006

(シクロヘキサノン)

cat. 2; rat : SIDS, 2009

#### 特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

## [製品]

- 区分 1, 臓器の障害
- 区分 2, 臓器の障害のおそれ
- 区分 3, 眠気又はめまいのおそれ

## [成分データ]

## [区分1]

- [日本公表根拠データ]
- (トルエン)
- 中枢神経系 (IARC 47, 1989; IRIS tox. Review, 2005)
- (イソプロピルアルコール)
- 中枢神経系、全身毒性 (環境省リスク評価第6巻, 2005)
- (メタノール)
- 中枢神経系、視覚器、全身毒性 (DFGOT vol.16, 2001)
- (キシレン)
- 肝臓、中枢神経系、呼吸器、腎臓 (NITE有害性評価書, 2008)

## [区分2]

- [日本公表根拠データ]
- (メチルエチルケトン)
- 腎臓 (HSDB, 2014)

## [区分3(気道刺激性)]

- [日本公表根拠データ]
- (トルエン)
- 気道刺激性 (PATTY 5th, 2001)
- (酢酸エチル)
- 気道刺激性 (ACGIH 7th, 2001; 環境省リスク評価第10巻, 2012)
- (メチルエチルケトン)
- 気道刺激性 (環境省リスク評価第6巻, 2008)
- (イソプロピルアルコール)
- 気道刺激性 (環境省リスク評価第6巻, 2005)
- (アセトン)
- 気道刺激性 (ACGIH 7th, 2001)
- (酢酸n-プロピル)
- 気道刺激性 (HSDB, 2014)
- (酢酸n-ブチル)
- 気道刺激性 (CICAD 64 2005)
- (エチルベンゼン)
- 気道刺激性 (ACGIH, 2011; AICIS IMAP, 2020)
- (エタノール)
- 気道刺激性 (PATTY 6th, 2012)
- (メチルイソブチルケトン)
- 気道刺激性 (PATTY 6th, 2012)
- (1-ブタノール)
- 気道刺激性 (PATTY 6th, 2012)
- (n-ヘキサン)
- 気道刺激性 (ACGIH 7th, 2001)
- (酢酸イソブチル)
- 気道刺激性 (PATTY 6th, 2012)
- (イソブタノール)
- 気道刺激性 (EHC 65, 1987; DFGOT vol. 19, 2003)

(メチルシクロヘキサン)  
 気道刺激性 (PATTY 6th, 2012)  
 (酢酸メチル)  
 気道刺激性 (PATTY 6th, 2012)  
 (n-ヘプタン)  
 気道刺激性 (SIDS, 2013)  
 (1,2,4-トリメチルベンゼン)  
 気道刺激性 (ACGIH, 2001)  
 (1,3,5-トリメチルベンゼン)  
 気道刺激性 (MOE 初期評価, 2013)

### [区分3(麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]  
 (トルエン)  
 麻酔作用 (EHC 52, 1985; IARC 47, 1989)  
 (酢酸エチル)  
 麻酔作用 (ACGIH 7th, 2001; SIDS, 2008)  
 (メチルエチルケトン)  
 麻酔作用 (環境省リスク評価第6巻, 2008)  
 (メタノール)  
 麻酔作用 (PATTY 5th, 2001)  
 (アセトン)  
 麻酔作用 (ACGIH 7th, 2001)  
 (酢酸n-プロピル)  
 麻酔作用 (HSDB, 2014)  
 (酢酸n-ブチル)  
 麻酔作用 (CICAD 64 2005)  
 (エチルベンゼン)  
 麻酔作用 (ACGIH, 2011)  
 (キシレン)  
 麻酔作用 (NITE有害性評価書, 2008)  
 (エタノール)  
 麻酔作用 (PATTY 6th, 2012; SIDS, 2005)  
 (メチルイソブチルケトン)  
 麻酔作用 (PATTY 6th, 2012)  
 (1-ブタノール)  
 麻酔作用 (PATTY 6th, 2012)  
 (n-ヘキサン)  
 麻酔作用 (PATTY 5th, 2001)  
 (プロピレングリコールモノメチルエーテル)  
 麻酔作用 (ECETOC TR95, 2005; SIDS, 2003)  
 (酢酸イソブチル)  
 麻酔作用 (PATTY 6th, 2012)  
 (イソブタノール)  
 麻酔作用 (SIDS, 2005; SIDS Dossier, 2005)  
 (メチルシクロヘキサン)  
 麻酔作用 (SIAP, 2014; PATTY 6th, 2012)  
 (酢酸メチル)  
 麻酔作用 (PATTY 6th, 2012)  
 (2-ブトキシエタノール)

麻酔作用 (SIDS, 2007; EU-RAR, 2006)  
 (n-ヘプタン)  
 麻酔作用 (SIDS, 2013)  
 (1,2,4-トリメチルベンゼン)  
 麻酔作用 (US AEGL, 2012 et al.)  
 (1,3,5-トリメチルベンゼン)  
 麻酔作用 (MOE 初期評価, 2013)  
 (シクロヘキサノン)  
 麻酔作用 (SIDS, 2009)

#### 特定標的臓器毒性(反復ばく露)

##### [製品]

区分 1, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害  
 区分 2, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

##### [成分データ]

##### [区分1]

[日本公表根拠データ]  
 (トルエン)  
 中枢神経系、腎臓 (産業医学 36巻, 1994)  
 (メチルエチルケトン)  
 神経系 (ACGIH 7th, 2001)  
 (イソプロピルアルコール)  
 血液系 (EHC 103, 1990)  
 (メタノール)  
 中枢神経系、視覚器 (ACGIH 7th, 2001)  
 (アセトン)  
 消化管、中枢神経系、呼吸器 (ATSDR Addendum, 2011)  
 (エチルベンゼン)  
 聴覚器、神経系 (産衛学会許容濃度の提案理由書, 2020)  
 (キシレン)  
 神経系、呼吸器 (NITE有害性評価書, 2008)  
 (エタノール)  
 肝臓 (DFGOT vol.12, 1999)  
 (メチルイソブチルケトン)  
 中枢神経系 (ACGIH 7th, 2010)  
 (1-ブタノール)  
 聴覚器、中枢神経系 (環境省リスク評価第4巻, 2005)  
 (n-ヘキサン)  
 神経系 (ACGIH 7th, 2001)

##### [区分2]

[日本公表根拠データ]  
 (イソプロピルアルコール)  
 脾臓、肝臓、呼吸器 (EHC 103, 1990)  
 (エタノール)  
 中枢神経系 (HSDB, Access on Jun. 2013)

#### 誤えん有害性

##### [製品]

区分 1, 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

##### [成分データ]

##### [区分1]

[日本公表根拠データ]

(トルエン)

cat. 1; hydrocarbon, kinematic viscosity =0.86 mm<sup>2</sup>/s (40°C) (計算値) (粘性率 : 0.727 mPa・s (Renzo,1986), 密度 : 0.8483 g/mL (CRC 91st, 2010))

(エチルベンゼン)

cat. 1; hydrocarbon, kinematic viscosity=0.63 mm<sup>2</sup>/s (40°C) (CLH Report, 2010)

(キシレン)

cat. 1; kinematic viscosity=0.86(o-), 0.67(m-), 0.70(p-) mm<sup>2</sup>/s (25°C) (HSDB, 2014)

(n-ヘキサン)

cat. 1; hydrocarbon, kinematic viscosity < 20.5 mm<sup>2</sup>/s (40°C)

(メチルシクロヘキサン)

cat. 1; hydrocarbon, kinematic viscosity =0.89mm<sup>2</sup>/s (25°C) (計算値) (粘性率 : 0.685 mPa・s (25°C), 密度 : 0.7694 g/cm<sup>3</sup> (25°C)) (溶剤ハンドブック, 2004)

(n-ヘプタン)

cat. 1; hydrocarbon, 化学性肺炎 (HSDB, 2014)

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

cat. 1; hydrocarbon, kinematic viscosity=0.843 mm<sup>2</sup>/s (20°C), 0.630 mm<sup>2</sup>/s (50°C) (本物質の異性体である1,3,5-トリメチルベンゼン) (GESTIS, 2021)

(1,3,5-トリメチルベンゼン)

cat. 1; hydrocarbon, kinematic viscosity=0.843 mm<sup>2</sup>/s (20°C), 0.630 mm<sup>2</sup>/s (50°C) (REACH登録情報, Accessed July 2021)

## 12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[製品]

区分 2, 水生生物に毒性

区分 2, 長期継続的影響によって水生生物に毒性

[成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(トルエン)

甲殻類 (Ceriodaphnia dubia) EC50=3.78mg/L/48hr (NITE初期リスク評価書, 2006)

(酢酸エチル)

甲殻類 (ミジンコ) EC50=262 mg/L/48hr; 魚類 (ファットヘッドミノー) LC50=230mg/L/96hr (環境省リスク評価第10巻, 2012)

(メチルエチルケトン)

魚類 (ニジマス) LC50 > 100mg/L/96hr (環境庁生態影響試験, 1996)

(イソプロピルアルコール)

魚類 (メダカ) LC50 >100mg/L/96hr (環境庁生態影響試験, 1997)

(メタノール)

甲殻類 (ブラインシュリンプ) LC50=900.73mg/L/24hr (EHC196, 1998)

(アセトン)

魚類 (ファットヘッドミノー) LC50 >100mg/L/96hr (EHC207, 1998)

(酢酸n-プロピル)

魚類 (ファットヘッドミノー) LC50=60mg/L/96hr (SIDS, 2009)

(酢酸n-ブチル)

魚類 (ファットヘッドミノー) LC50=18mg/L/96hr (CICAD 64, 2005)

(エチルベンゼン)  
 甲殻類 (バイシュリンブ) LC50=0.42mg/L/96hr (NITE初期リスク評価書, 2007)  
 (キシレン)  
 魚類 (ニジマス) LC50=3.3mg/L/96hr (NITE 初期リスク評価書, 2005)  
 (エタノール)  
 藻類 (クロレラ) EC50=1000mg/L/96hr (SIDS, 2005)  
 (メチルイソブチルケトン)  
 魚類 (ファットヘッドミノー) LC50=505mg/L/96hr (ECETOC TR91, 2003)  
 (1-ブタノール)  
 魚類 (メダカ) LC50 > 100mg/L/96hr (環境庁生態影響試験, 1996)  
 (n-ヘキサン)  
 甲殻類 (オオミジンコ) LC50=3.88mg/L/48hr (EHC122, 1991)  
 (プロピレングリコールモノメチルエーテル)  
 甲殻類 (オオミジンコ) EC50 > 1000mg/L/48hr (EURAR, 2003)  
 (酢酸イソブチル)  
 魚類 (メダカ) LC50=17mg/L/96hr (環境庁生態影響試験, 1999)  
 (イソブタノール)  
 甲殻類 (アメリカザリガニ) LC50=949mg/L/96hr, 魚類 (ニジマス) LC50=1330mg/L/96hr, 藻類 (*Desmodesmus subspicatus*) EC50 (速度法)=2300mg/L/48hr (環境省環境リスク評価第11巻, 2013)  
 (メチルシクロヘキサン)  
 甲殻類 (オオミジンコ) EC50=0.33mg/L/48hr (環境省生態影響試験, 2006)  
 (酢酸メチル)  
 藻類 (緑藻) EC50 > 120mg/L/72hr (EURAR, 2003)  
 (2-ブトキシエタノール)  
 魚類 (シープスヘッドミノー) LC50=116mg/L/96hr (環境省リスク評価第6巻, 2008、他)  
 (n-ヘプタン)  
 甲殻類 (ミシッドシュリンブ) LC50=0.1mg/L/96hr (SIDS, 2013)  
 (1,2,4-トリメチルベンゼン)  
 魚類 (ファットヘッドミノー) LC50=7.72mg/L/96hr (優先評価化学物質のリスク評価, 2015)  
 (1,3,5-トリメチルベンゼン)  
 甲殻類 (オオミジンコ) EC50=6mg/L/48hr; 魚類 (キンギョ) LC50=12.5mg/L/96hr (NITE初期リスク評価書, 2008)  
 (シクロヘキサノン)  
 魚類 (ファットヘッドミノー) LC50=527mg/L/96hr (CERI, 2000)  
 水生環境有害性 長期(慢性)  
 [日本公表根拠データ]  
 (トルエン)  
 甲殻類 (*Ceriodaphnia dubia*) NOEC=0.74mg/L/7days (NITE初期リスク評価書, 2006)  
 (酢酸エチル)  
 甲殻類 (オオミジンコ) NOEC=2.4mg/L/21days (ECETOC TR91, 2003)  
 (メチルエチルケトン)  
 藻類 (*Pseudokirchneriella subcapitata*) NOEC=93mg/L/72hr (環境庁生態影響試験, 1996)  
 (イソプロピルアルコール)  
 甲殻類 (オオミジンコ) NOEC > 100mg/L/21days (環境庁生態影響試験, 1997)  
 (酢酸n-プロピル)  
 藻類 (*Pseudokirchneriella subcapitata*) NOEC=83.2mg/L/72hr (SIDS, 2009)  
 (エチルベンゼン)  
 甲殻類 (ネコゼミジンコ) NOEC=0.956mg/L/7days (環境省リスク評価第13巻, 2015)  
 (エタノール)

甲殻類（ニセネコゼミジンコ属）NOEC=9.6mg/L/10days (SIDS, 2005)  
 (メチルイソブチルケトン)  
 魚類（ファットヘッドミノー）NOEC=57mg/L/31days (環境省リスク評価第6巻, 2008)  
 (1-ブタノール)  
 甲殻類（オオミジンコ）NOEC=4.1mg/L/21days (環境省リスク評価, 2005)  
 (酢酸イソブチル)  
 甲殻類（オオミジンコ）NOEC=23mg/L/21days (環境庁生態影響試験, 1999)  
 (イソブタノール)  
 甲殻類（オオミジンコ）NOEC (繁殖阻害)=4.0mg/L/21days (環境省環境リスク評価第11巻, 2013;  
 ECETOC TR91, 2003); 藻類（*Desmodesmus subspicatus*）EC10 (速度法)=900mg/L/48hr (環境省環  
 境リスク評価, 第11巻, 2013)  
 (メチルシクロヘキサン)  
 藻類（セレナストラム）NOEC=0.067mg/L/72hr (環境省生態影響試験, 2006)  
 (1,3,5-トリメチルベンゼン)  
 甲殻類（オオミジンコ）NOEC=0.4mg/L/21days (SIAP, 2012)

#### 水溶解度

(トルエン)  
 溶けない (ICSC, 2002)  
 (酢酸エチル)  
 8 g/100 ml (PHYSPROP\_DB, 2009)  
 (メチルエチルケトン)  
 29 g/100 ml (20°C) (ICSC, 1998)  
 (イソプロピルアルコール)  
 In water, infinitely soluble (25°C) (HSDB, 2013)  
 (メタノール)  
 100 g/100 ml (PHYSPROP\_DB, 2009)  
 (アセトン)  
 100 g/100 ml (PHYSPROP\_DB, 2005)  
 (酢酸n-プロピル)  
 溶けにくい (1.6 g/100 ml, 16°C) (ICSC, 2014)  
 (酢酸n-ブチル)  
 0.7 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2003)  
 (エチルベンゼン)  
 0.015 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2007)  
 (エタノール)  
 混和する (ICSC, 2000)  
 (メチルイソブチルケトン)  
 1.91g/100 ml (20°C) (ICSC, 1997)  
 (1-ブタノール)  
 6.32 g/100 ml (25°C) (HSDB, 2013)  
 (n-ヘキサン)  
 0.0013 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2000)  
 (プロピレングリコールモノメチルエーテル)  
 非常によく溶ける (ICSC, 1997)  
 (酢酸イソブチル)  
 0.67 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2003)  
 (イソブタノール)  
 8.7 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2005)  
 (メチルシクロヘキサン)

溶けない (ICSC, 1997)  
 (酢酸メチル)  
 24.4 g/100 ml (20) (ICSC, 2014)  
 (2-ブトキシエタノール)  
 混和する (ICSC, 2003)  
 (n-ヘプタン)  
 溶けない (ICSC, 1997)  
 (1,2,4-トリメチルベンゼン)  
 非常に溶けにくい (ICSC, 2002)  
 (1,3,5-トリメチルベンゼン)  
 非常に溶けにくい (ICSC, 2002)  
 (シクロヘキサノン)  
 2.5 g/100 ml (PHYSPROP\_DB, 2005)

#### 残留性・分解性

##### [成分データ]

(トルエン)  
 BODによる分解度: 123% (既存点検)  
 (酢酸エチル)  
 急速分解性あり (BOD分解度: 66, 112, 105%/28day (通産省公報, 1993))  
 (メチルエチルケトン)  
 急速分解性あり (20日後のBOD分解度=89% (SIDS, 2011))  
 (イソプロピルアルコール)  
 急速分解性あり (BODによる分解度: 86% (既存点検, 1993))  
 (酢酸n-プロピル)  
 急速分解性あり (14日後のBODによる分解度: 81% (既存点検, 2000))  
 (酢酸n-ブチル)  
 急速分解性あり (BODによる分解度: 98%, SIDS, 2009)  
 (エチルベンゼン)  
 急速分解性なし (良分解性; 標準法におけるBODによる分解度: 0% (通産省公報, 1990))  
 (キシレン)  
 急速分解性なし (BODによる分解度: 39% (NITE 初期リスク評価書, 2005))  
 (エタノール)  
 急速分解性あり (BODによる分解度: 89% (既存点検, 1993))  
 (メチルイソブチルケトン)  
 急速分解性あり (BOD分解度=84%/14 days; TOC分解度=97.1%/14 days; GC分解度=100%/14 days (通産省公報, 1975))  
 (1-ブタノール)  
 急速分解性あり (BOD20: 92% (SIDS, 2005))  
 (n-ヘキサン)  
 BODによる分解度: 100% (既存点検)  
 (酢酸イソブチル)  
 急速分解性あり (20日後のBODによる分解度: 79-81% (SIDS, 2009))  
 (イソブタノール)  
 急速分解性あり (BODによる分解度: 90% (化審法DB, 1976))  
 (メチルシクロヘキサン)  
 急速分解性なし (BODによる分解度: 0% (既存点検, 1986))  
 (2-ブトキシエタノール)  
 BODによる分解度: 96% (既存点検)  
 (n-ヘプタン)

急速分解性あり (BODによる分解度 : 101% (既存点検, 1996))

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

急速分解性なし (BODによる28日間分解度 : 平均8.7% (METI既存点検結果, 1980))

(1,3,5-トリメチルベンゼン)

急速分解性なし (BODによる分解度 : 0%/14 days (METI既存点検結果, 1980))

#### 生体蓄積性

##### [成分データ]

(トルエン)

log Kow=2.73 (PHYSPROP DB, 2008)

(酢酸エチル)

log Pow=0.73 (ICSC, 2014)

(メチルエチルケトン)

log Pow=0.29 (ICSC, 1998)

(イソプロピルアルコール)

log Pow=0.05 (ICSC, 1999)

(メタノール)

log Pow=-0.82/-0.66 (ICSC, 2000)

(アセトン)

log Pow=-0.24 (ICSC, 2009)

(酢酸n-プロピル)

log Pow=1.24 (PHYSPROP DB, 2009)

(酢酸n-ブチル)

log Pow=1.78 (PHYSPROP DB, 2009)

(エチルベンゼン)

log Kow=3.15 (PHYSPROP DB, 2005)

(キシレン)

log Pow=3.16 (PHYSPROP DB, 2005)

(エタノール)

log Pow=-0.32 (ICSC, 2000)

(メチルイソブチルケトン)

log Pow=1.38 (ICSC, 1997)

(1-ブタノール)

log Pow=0.9 (ICSC, 2005)

(n-ヘキサン)

log Pow=3.9 (ICSC, 2000)

(酢酸イソブチル)

log Pow=1.78 (PHYSPROP DB, 2009)

(イソブタノール)

Log Kow=0.76 (SRC PHYSPROP DB, 2017)

(メチルシクロヘキサン)

BCF=321 (Check & Review, Japan)

(酢酸メチル)

log Pow=0.18 (ICSC, 2014)

(2-ブトキシエタノール)

log Pow=0.83 (PHYSPROP DB, 2005)

(n-ヘプタン)

log Pow=4.66 (ICSC, 1997)

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

log Pow=3.8 (ICSC, 2002)

(1,3,5-トリメチルベンゼン)

log Pow=3.42 (ICSC, 2002); BCF=342(Check & Review, Japan)

(シクロヘキサノン)

log Pow=0.81 (ICSC, 2004)

土壤中の移動性

土壤中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

### 13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報  
廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

### 14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号またはID番号 : 1263

正式輸送名 :

塗料（ペイント、ラッカー、エナメル、ステイン、シェラック、ワニス、ポリッシュ、液体フィラー、液体ラッカー系を含む）又は塗料関連材料（ペイント希釈剤又は還元化合物を含む）

分類または区分 : 3

容器等級 : II

指針番号: 128

特別規定番号 : 163; 367

IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号またはID番号 : 1263

正式輸送名 :

塗料（ペイント、ラッカー、エナメル、ステイン、シェラック、ワニス、ポリッシュ、液体フィラー、液体ラッカー系を含む）又は塗料関連材料（ペイント希釈剤又は還元化合物を含む）

分類または区分 : 3

容器等級 : II

特別規定番号 : 163; 367

IATA (航空危険物規則書)

国連番号またはID番号 : 1263

正式輸送名 :

塗料（ペイント、ラッカー、エナメル、ステイン、シェラック、ワニス、ポリッシュ、液体フィラー、液体ラッカー系を含む）又は塗料関連材料（ペイント希釈剤又は還元化合物を含む）

分類または区分 : 3

危険性ラベル : Flamm.liquid

容器等級 : II

特別規定番号 : A3; A72; A192

環境有害性

海洋汚染物質（該当/非該当）: 該当

特別の安全対策

特別の安全対策データなし

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

有害液体物質(X類)

n-ヘプタン; 1,3,5-トリメチルベンゼン; 1,2,4-トリメチルベンゼン

有害液体物質(Y類)

1-ブタノール; イソブタノール; エチルベンゼン; 2-ブトキシエタノール; キシレン; 酢酸n-プロピル; 酢酸n-ブチル; 酢酸イソブチル; トルエン; n-ヘキサン; メタノール; メチルシクロヘキサン

有害液体物質(Z類)

アセトン; イソプロピルアルコール; エタノール; 酢酸エチル; 酢酸メチル; シクロヘキサノン; 1-ブタノール; イソブタノール; プロピレングリコールモノメチルエーテル; メチルイソブチルケトン; メチルエチルケトン

MARPOL条約附属書V - HME(海洋環境に有害)

発がん性: 区分1, 1A, 1B 該当物質

エタノール; メチルイソブチルケトン

生殖毒性: 区分1, 1A, 1B 該当物質

トルエン; メタノール; エチルベンゼン; キシレン; エタノール

特定標的臓器毒性, 反復ばく露: 区分1 該当物質

トルエン; メチルエチルケトン; イソプロピルアルコール; メタノール; アセトン; エチルベンゼン; キシレン; エタノール; メチルイソブチルケトン; 1-ブタノール; n-ヘキサン

水生環境有害性: 短期(急性) 区分1 該当物質

エチルベンゼン

水生環境有害性: 長期(慢性) 区分1, 2 該当物質

エチルベンゼン; キシレン

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法

引火性液体類 分類3

航空法

引火性液体 分類3

## 15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則 特定化学物質 第2類 特別有機溶剤等

エチルベンゼン; メチルイソブチルケトン

特化則 第38条の8 第2種有機溶剤等 (有機則準用)

有機則 第2種有機溶剤等

含有有機溶剤

トルエン; 酢酸エチル; メチルエチルケトン; イソプロピルアルコール; メタノール; アセトン; 酢酸n-プロピル; 酢酸n-ブチル; キシレン; 1-ブタノール; n-ヘキサン; 酢酸イソブチル; イソブタノール; 酢酸メチル; 2-ブトキシエタノール; シクロヘキサノン; 軽質芳香族系石油ソルベントナフサ

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

トルエン(別表第9の407); 酢酸エチル(別表第9の177); メチルエチルケトン(別表第9の570); イソプロピルアルコール(別表第9の494); メタノール(別表第9の560); アセトン(別表第9の17); 酢酸n-プロピル(別表第9の182); 酢酸n-ブチル(別表第9の181); エチルベンゼン(別表第9の70); キシレン(別表第9の136); エタノール(別表第9の61); メチルイソブチルケトン(別表第9の569); 1-ブ

タノール(別表第9の477); n-ヘキサン(別表第9の520); 酢酸イソブチル(別表第9の181); イソブタノール(別表第9の477)

#### 名称通知危険/有害物

トルエン(別表第9の407); 酢酸エチル(別表第9の177); メチルエチルケトン(別表第9の570); イソプロピルアルコール(別表第9の494); メタノール(別表第9の560); アセトン(別表第9の17); 酢酸n-プロピル(別表第9の182); 酢酸n-ブチル(別表第9の181); エチルベンゼン(別表第9の70); キシレン(別表第9の136); エタノール(別表第9の61); メチルイソブチルケトン(別表第9の569); 1-ブタノール(別表第9の477); n-ヘキサン(別表第9の520); 酢酸イソブチル(別表第9の181); イソブタノール(別表第9の477); 2-ブトキシエタノール(別表第9の79); シクロヘキサノン(別表第9の231)

#### 別表第1 危険物 (第1条、第6条、第9条の3関係)

危険物・引火性の物 (-30°C ≤ 引火点 < 0°C)

#### 健康障害防止指針公表物質(法第28条第3項)

エチルベンゼン; メチルイソブチルケトン

#### 変異原性が認められた化学物質 [厚労省局長通達]

トルエン

#### 化学物質管理促進(PRTR)法

##### 第1種指定化学物質

トルエン(28%);  
ヘキサン(1.0%);  
エチルベンゼン(3.0%);  
メチルイソブチルケトン(1.2%);  
キシレン(3.0%)

#### 労働基準法

##### 疾病化学物質(規則別表第1の2第4号1)

トルエン; 酢酸エチル; メタノール; アセトン; 酢酸n-プロピル; 酢酸n-ブチル; キシレン; n-ヘキサン; 酢酸メチル; シクロヘキサノン

#### 消防法

##### 危険物

第4類 引火性液体第1石油類 危険等級 II (指定数量 200L)

#### 化審法

##### 優先評価化学物質

n-ヘキサン(通し番号3 人健康影響/生態影響); トルエン(通し番号46 人健康影響/生態影響); 1,2,4-トリメチルベンゼン(通し番号49 人健康影響/生態影響); エチルベンゼン(通し番号50 人健康影響/生態影響); 1-ブタノール(通し番号124 人健康影響); イソプロピルアルコール(通し番号102 人健康影響); 2-ブトキシエタノール(通し番号109 人健康影響); メチルイソブチルケトン(通し番号116 人健康影響); キシレン(通し番号125 人健康影響); シクロヘキサノン(通し番号131 人健康影響); 1,3,5-トリメチルベンゼン(通し番号201 人健康影響)

#### 悪臭防止法

##### トルエン

政令番号16: 敷地境界線許容限度 10 - 60 ppm

##### 酢酸エチル

政令番号14: 敷地境界線許容限度 3 - 20 ppm

##### キシレン

政令番号18: 敷地境界線許容限度 1 - 5 ppm

##### メチルイソブチルケトン

政令番号15: 敷地境界線許容限度 1 - 6 ppm

##### イソブタノール

政令番号13: 敷地境界線許容限度 0.9 - 20 ppm

#### 大気汚染防止法

## 有害大気汚染物質

エチルベンゼン(中環審第9次答申の24)

キシレン(中環審第9次答申の43)

n-ヘキサン(中環審第9次答申の207)

## 有害大気汚染物質/優先取組

トルエン(中環審第9次答申の141)

特定物質 政令第10条第1号から第28号

メタノール(政令第10条第6号)

## 水質汚濁防止法

### 指定物質

トルエン

法令番号 25

酢酸エチル

法令番号 13

キシレン

法令番号 28

## 16. その他の情報

### 参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN

IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)

IATA 航空危険物規則書 第64版(2023年)

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2023 TLVs and BEIs. (ACGIH)

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

2022 許容濃度等の勧告(日本産業衛生学会)

厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)

Supplier's data/information

### 責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ(NITE 令和4年度(2022年度))です。